

湖畔の風

会長あいさつ 令和4年度はじまります



日ごとに暖かさが増す季節となりましたが、皆様におかれましてはあわただしい毎日をお過ごしのことと存じます。

さて、コミュニティ会議は自分たちの住んでいる地域は、自分たちで生活しやすい地域を創る、そのため自分たちで課題を見付け、自分たちで行動し、自分たちで解決することが目的の組織であります。

昨年度、花巻市の「地域づくりサポート事業」を取り入れ、小倉・中通・白土、各地区住民の参加により田瀬の未来の方向性についての話し合いを持ち、その原案がまとまったところであります。

主事業で、継続して実施していく取り組みとして、除雪等高齢者世帯への支援、水晶発掘等生涯学習事業の推進、みのりまつりの開催、ウォーキング等健康増進事業などです。

新たな取り組みとして「これからの田瀬を考える集い」を立ち上げ、その一例として、高齢者見守り事業、子供たちの育成事業、田瀬地域大盆踊り大会、あねさん会の発足、地域農園事業など検討中です。

新たにに取り組む事業については、各地区の住民の参加による組織を設立し、皆様のご助言をいただきながら、住みよい田瀬地域を目指し取り組んでまいります。

最後に、新型コロナウイルスのなかではありますが、予定通りに事業が進むように皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



田瀬地域コミュニティ会議

会長 菅原 勇一



令和3年度の事業

水晶発掘探検、コロナ撃退田瀬を元気にする花火打ち上げ、ふるさとカルタ取り大会など

異聞 田瀬の歴史 第4回

江刺氏以前の田瀬の領主（文治5年）

天正20年、江刺氏が田瀬の領主となる前は阿曾沼氏が領主でした。しかし、東和町史などには記載が見られません。このことは、当時、田瀬は和賀郡ではなく上閉伊郡であったからでしょう。

文治5年（1189）4月30日、源義経が平泉で死去。9月3日秋田で藤原泰衡が殺害され、三代続いた平泉の藤原氏は滅亡しました。

平泉を平定した鎌倉幕府将軍源頼朝は従軍した武將に奥州各地の所領を与えます。9月20日、阿曾沼氏は遠野十二郷を論功行賞されます。遠野十二郷とは今の遠野・釜石・大槌で、そのうち下六郷は達曾部・田瀬・鱒澤・小友・綾織・宮守とされ、この時から田瀬は阿曾沼廣綱氏の所領となりました。因みに、江刺氏の本家・葛西氏も現在の一関・東磐井・平泉・水沢・江刺を賜り、江刺氏は江刺岩谷堂の領主となりました。

阿曾沼氏は、依藤太藤原秀郷の子孫で、もともとの所領は、下野の国（栃木県佐野）であったので、当初は遠野には赴任せず、一族の宇夫方氏を代官として置いたので田瀬に来ることはなかったと思われます。実際に遠野に着任したのは室町時代、永享9年（1437）で、廣綱から10代目、秀氏（ひでうじ）の時代、気仙郡の岳波太郎と唐鍬四郎の反乱を南部氏と共に平定した時でしょう。

天正7年（1579）15代広郷は、織田信長に白鷹を献上し、信長より礼状をいただいています。天正18年（1590）豊臣秀吉の小田原攻めに参陣しなかったため、南部氏預かり（附庸）になります。

慶長（5年）（1600）は田瀬が戦場になった年。会津の上杉氏と山形の最上氏の合戦があり、7月に16代広郷は徳川家康に南部氏と共に最上氏を加勢するように命令され山形に出陣します。ところが9月に花巻の「鳥谷崎城」が和賀氏に攻められたため、南部氏は花巻に戻ります。

一方遠野でも不在を狙われて謀反が起きていましたが、広郷は知らずに最上に残っていました。

この年、田瀬も攻められますが、応戦したのは江刺氏でした。

まもなく上杉氏が会津に退却したため、阿曾沼氏も遠野に戻ることにします。

11月。伊達領を通過しての帰途、人首に宿をとり明日はいよいよ五輪峠を越えて遠野だという日のことです。遠野に残っていた家臣が広郷氏の宿を訪ね、重臣による謀反を伝え、鱒沢周辺で謀反の一味が襲撃を計画しているので帰らないようにと注進しました。急遽行き先を広郷の夫人の実家であり、一族の阿曾沼甲斐守信康の世田米城に替えて落ち延びます。

翌6年には伊達政宗の支援を得て遠野奪回を3回にわたり試みますが、伊達氏は前年の和賀氏支援が失敗したこともあり、消極的であり、阿曾沼氏は遠野十二郷を奪回することができず、鎌倉幕府将軍源頼朝より賜った遠野十二郷の領地を失います。《次回につづく》



左：阿曾沼氏の山城、横田城跡と薬師堂
右：阿曾沼氏の歴代の墓（遠野市松崎）

（考察）これには南部氏の策略がありました。400年にわたって阿曾沼が統治した遠野十二郷を領有したい南部氏は、策を講じて広郷の重臣に謀反を起こさせ阿曾沼追放を画策していたのです。

広郷が去って27年後の寛永4年（1627）、八戸から南部直義（遠野南部）が移封されました。その頃、田瀬は和賀郡に位置付けられました。

『遠野市史』『阿曾沼興廢記』

★「田瀬の未来を考える集い」ワークショップ

令和3年10月28日（木）、11月11日（木）25日（木）3回にわたり、花巻市のサポート事業としてワークショップが行われました。

田瀬地区の参加者は30代、40代、50代の働き盛り世代18人とコミュニティ会議会長、3地区の区長で、話し合いがされました。

地域支援室とコーディネーターの一般社団法人結学舎 似内一弘氏を中心に、毎回3グループに分かれて話し合われました。

内容としては田瀬地域の課題やその解決方法、未来に向けた「ビジョン」の具体案を話し合いました。

3回ともに盛況で、活発な意見交換をすることが出来ました。

今後の4年間の展開として、ワークショップに参加した方を中心に新規事業について検討、実施していく団体等を設立し、ワークショップの継続、事業の具体化を目標にしています。

毎回、盛況で、たくさんの貴重な意見が出ました。



田瀬地域で活動中の地域おこし協力隊の坊迫さんも参加しました。



施設利用制限 引き続き「レベル4」!

振興センター・社会体育館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、花巻市施設利用制限により休館しております。

地区の皆様には、ご不便ご迷惑をおかけいたしておりますが、引き続きご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお皆さまには、三密を避け、常時マスクの着用、こまめな手洗いなど、基本的な感染対策の再徹底をお願いします。

火災に注意 空気が乾燥し、火災がおきやすい時期となりました。火の元には十分注意するようお願いいたします。また、たき火・枯草焼きをする場合は次のことに注意してください。

- 1 周囲に燃えるものがある場所で行わないこと。
- 2 乾燥注意報などが出ている時はもちろんのこと、空気が乾燥していると感じる時や風が強いときは中止すること。
- 3 消火器・水バケツ・スコップなど完全に消火できるものを準備しておくこと。
- 4 火の粉が飛ばないように少しずつ燃やすこと。
- 5 畦畔の草焼き等は、少しずつ分けて行うこと。
- 6 完全に消火するまで、その場を離れないこと。
- 7 枯草などを燃やすときは、あらかじめ最寄りの消防署・分署に連絡すること。



★ 今シーズンの田瀬湖ワカサギ釣り報告 —わかさぎ釣りをやろう会—



2021年11月19日から2022年1月24日まで、今シーズンのワカサギ釣りが行われました。横峰、釣り公園付近で、手漕ぎボート、スワンボートを使用した、ボート釣りです。

利用者は延べ277人。東京、神奈川、秋田、宮城など県外の利用者もありました。



釣果は、平均30匹、多い人で100匹ほど。大きさは最大で17センチの大物も釣れました。

4月の行事予定

- 役員会 4月11日(月) 18時30分～
- 令和4年度総会 4月16日(土) 15時～

5月の行事予定

- 胃がん検診 5月16日(月)
- 市政懇談会 5月27日(金)

～令和4年度『田瀬の笑顔』

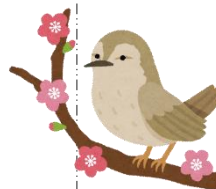
カレンダー配布します～

令和4年度のカレンダーできました。今年度も笑顔がいっぱいです。

4月1日から全戸に配布いたします。ごみ収集日等、掲載しておりますので、ご利用ください。



※新型コロナウイルス感染状況などにより、変更になることがあります。ご了承ください。また、5月の予定については、後日詳しく、お知らせいたします。



田瀬地区の人口

(令和4年2月末現在)

行政区	世帯数	人数			比較 (1月末)
		男	女	計	
田瀬第1	67	83	95	178	1人減
田瀬第2	28	35	35	70	—
田瀬第3	73	80	89	169	1人減
計	168	198	219	417	2人減

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで